

一般社団法人 WheelLog



ウィーログ!

2020 年度 アニュアルレポート



団体名	一般社団法人 WheelLog
法人設立	2018 年 8 月
代表理事 理事	織田友理子 牛山 大輔（ハリウッド株式会社 代表取締役社長） 櫻井 政考（イービストレード株式会社 執行役員） 高橋 ゆき（株式会社ベアーズ 取締役副社長） 野村 美通（M & K コンサルタンツ株式会社 代表取締役）
監事	内野 真人（公認会計士）
最高技術責任者 最高知識責任者 事務局員	伊藤史人（島根大学総合理工学研究科 助教） 吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所 代表取締役） 織田洋一、松下雄一
目的	障害者や高齢者、ベビーカー利用者などの移動に困難を抱える方向けにバリアフリー情報を発信し、社会全体のバリアフリーに関する理解を普及させること
事業内容	(1) バリアフリーに関する情報の提供 (2) バリアフリーに関する調査及び研究 (3) 街歩きイベント企画及び運営 (4) オリジナル商品の企画、開発及び販売 (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業
所在地	〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 4 階 M&K コンサルタンツ内
メールアドレス	info@wheellog.com
ホームページ	https://wheellog.com/

『バリアフリーの進捗度合いは、その国の品格や国民・社会の成熟度を端的に表すもの』と、近年、飛躍的にバリアフリー化を推進されている赤羽一嘉国土交通大臣がおっしゃっています。近年の日本は、例えば公衆トイレなどは、背もたれやユニバーサルシートなど、諸外国よりも水準が高く、重度になっても社会参加できるようなインフラが整えられつつあります。そうしたバリアフリー政策を精力的に推進する赤羽国土交通大臣より、一般社団法人 WheelLog は 2020 年度『国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰』という大変栄誉ある賞をいただきました。

さらに、科学技術振興機構の『STI for SDGs』アワードで文部科学大臣賞も受賞することができました。2015 年にアメリカのオバマ前大統領から招聘を受けた「グローバル・アントレプレナーシップ・サミット」に参加してから、持続可能な開発目標 (SDGs) の取り組みに貢献していきたいと常々思っていたため、SDGs のアワードを受賞できたことは非常に感慨深かったです。今後教育の現場でも WheelLog! を活用していただき、SDGs の取り組みに貢献していきたいです。

2020 年は新型コロナウイルスに泣かされ、新型コロナウイルスによって強くなれた一年でした。しかし、『リモート街歩き』に挑戦し、これまで地方でなかなか参加できないという『場所』の課題を解消するだけでなく、全国どこからでも同じ時間を共有できるという『新たな価値』を生み出すことができました。

これまでは『できる、できない』で人の価値が決められてきたように思われます。しかし、できないことがあるからこそ、わかることがあると思います。できないことに価値があります。その価値を生かしていける WheelLog! であり続けたいです。苦しみを経験している人ほど、人の痛みがわかる人です。そして、WheelLog! には人の痛みに寄り添えるユーザーが集まっています。だからこそ、WheelLog! は世界一あたたかい地図に成長しています。未来は私たちの手で創ることができます。これからも WheelLog! を支えてくださっている皆様の声を伺いながら、新しい価値を生み出し、『車いすでもあきらめない世界』を目指して邁進していきます。

2021 年 6 月
一般社団法人 WheelLog
代表理事 織田友理子



織田友理子
一般社団法人 WheelLog 代表理事

- » NPO 法人 PADM (遠位型ミオパチー患者会) 代表
- » 株式会社インターアクション 社外取締役
- » 総務省地域情報化アドバイザー
- » 東京都福祉のまちづくり推進協議会 専門部会委員
- » 社会福祉法人小田原福祉会潤生園 評議員
- » Her Abilities Award 審査員



みんなでつくる！
車いすでも
あきらめない世界



WheelLog! Shop

オリジナルグッズ販売中



WheelLog! T-shirt
大人の着こなし術



<https://shop.wheellog.com>

グッズの収益は活動資金として活用させていただきます

2020 年度の活動

①兵庫県神戸市

②国土交通省ハード面のバリアフリー

③ JR 東日本

① ANA との実証実験

②高速道路の障害者割引制度

③バリアフリー船のプロモーション

①山形県酒田市

②群馬県渋川市

① MIT Solve

②ドバイ万博

③ WTFL2020



①環境省熱中症対策

② SDGs 企業研修

③福祉施設研修

①リモート街歩き

②地域共生社会実現に向けての提案

③地域共生社会トークセミナー

④ WheelLog! Summit

バリアフリー情報

①アプリのアップデート

②ウェブ版のリリース

③ VLED 勝手表彰

人のネットワーク

①オンラインコミュニティ

②つながり∞イベント

③マスクの無償配布

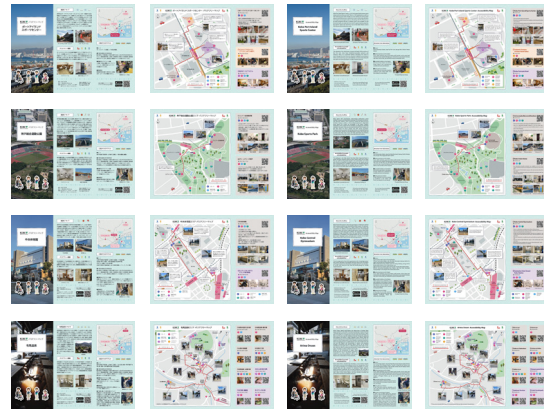
④ WheelLog! 合唱部

⑤ SNS キャンペーン

⑥運営委員会 2020

①兵庫県神戸市

マップ制作



神戸市からの委託でバリアフリーマップを制作

内閣官房「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」事業の一環として、神戸市から委託を受け、ワールドマスターズゲーム等で使用する市内の競技会場周辺のバリアフリーマップをWheelLogが調査から制作まで担当しました。現地のNPO 法人と協力し、市内を調査して情報をアプリに投稿。その情報を元に、競技場3カ所と観光地（有馬温泉）のバリアフリーマップを、日本語と英語の2言語で、計8種類制作しました。作成したバリアフリーマップは神戸市のホームページで公開されています。



▼マップはこちら



調査協力：NPO 法人アイ・コラボレーション神戸
神戸ユニバーサルツーリズムセンター

②国土交通省ハード面のバリアフリー

アンケート



▲国土交通省の方にアンケートを提出
アンケートまとめ▶



国土交通省にアンケート調査を提出

国土交通省の「建築設計標準の改正に関する検討会等」に際し、WheelLog! で独自にアンケート調査を実施しました。皆様からいただいた事例については、事例集として PDF にまとめて国土交通省住宅局の方へお届けしました。国土交通省の方からは「提示頂きました事例については、今後の選定に向けた参考とさせていただきます」とコメントをいただき、2021 年 4 月公開の「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」改正版に反映していただきました。

③ JR 東日本

事前調査



▲サポーターの皆さんと調査（2021 年 1 月）

イベントの事前バリアフリー調査を実施

2021 年 3 月 8 日（月）～ 14 日（日）まで、JR 東日本の高輪ゲートウェイ駅開業 1 周年記念イベントが実施されました。その一環として実施された、ウォーキングラリーイベントの事前調査として、バリアフリー調査を行いました。

ウォーキングラリーで巡るスポットや道路のバリアフリーについて、車いすで実地調査を行い、車いすでも安全に安心してまわるコースを選出しました。今回の事前調査は、WheelLog! サポーターの皆様にご協力いただきました。

① ANA との実証実験

データ連携



データ連携システムを開発し ANA 等と横須賀で実証実験イベント

ANA が開発する乗り換えアプリに、WheelLog! の情報を連携して、その有用性を検証する ANA・京急電鉄・横須賀市・横浜国立大学 4 者共同の実証実験を横須賀市で実施しました。「WheelLog! in 横須賀」として 12 月 1 日に新型コロナウイルス対策を徹底した上で実証実験の街歩きイベントを開催。街歩きの中でユーザーが WheelLog! に投稿した情報を、ANA のアプリにも表示されるか検証を行いました。今回行った実証実験の開発により、WheelLog! の情報を外部サービスにも提供できるようになり、ユーザーからいただいた情報を更に多くの人に届けられるようになりました。

②高速道路の障害者割引制度

国土交通省



赤羽国土交通大臣との懇親会に出席

12 月 24 日に代表の織田が国土交通省を訪問し、赤羽一嘉国土交通大臣との懇談会に出席しました。今回の「高速道路の障害者割引制度」は、車両から「人」に着目した制度改革です。今回の制度改革を受け、現在高

速道路の障害者割引は、事前に登録した自家用車 1 台のみ適用となりますが、令和 4 年度中には障害者手帳を表示することで、タクシーやレンタカーなどの自家用車以外でも割引が適用される見込みとなりました。

懇親会出席者
全国脊髄損傷者連合会 大演眞代表理事
日本身体障害者団体連合会 萩津和良理事
WheelLog 織田友理子代表理事
岡本三成衆議院議員、杉久武参議院議員
三浦信祐参議院議員、塩田博昭参議院議員

③バリアフリー船のプロモーション

動画制作



松山～広島バリアフリー旅の紹介動画を制作

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から依頼を受け、「車椅子ユーザーでも楽しめる船旅」と題した、バリアフリー船のプロモーション動画を制作しまし

た。松山～広島まで車いすでバリアフリーの船旅を体験している様子がご覧いただけますので、ぜひご参考ください。



▲動画はこちら

①山形県酒田市

マップ制作



▲酒田市が制作したバリアフリーマップ

山形県酒田市の観光バリアフリーマップ制作に協力

東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンである山形県酒田市が「みんなでつくろう！世界一あたたかいバリアフリーマップ」と題し、市民とともに酒田市のバリアフリーマップを制作するプロジェクトを実施しました。

10月10日には地元の一般や学生の

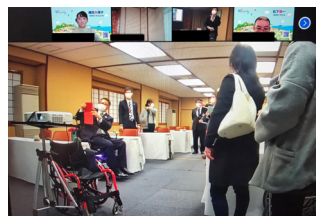
市民らが、WheelLog! を活用したバリアフリーマップ作成のための車いす体験イベントを開催しました。当日は約60名の市民の方が参加し、WheelLog! からオンラインで活動内容やアプリの使い方や説明しました。説明会のあとは参加者が実際に車いすを体験しながら、酒

田市内の観光名所などを回り、バリアフリー調査を行いました。イベント後も約1ヶ月間、市民の方が調査を継続し、WheelLog! アプリにデータを収集。WheelLog! に収集された情報は酒田市に提供し、その情報を元に酒田市がバリアフリーマップを制作されました。

②群馬県渋川市

車いす体験

群馬県渋川市・DET 群馬と観光事業者向け研修を実施



2021年2月19日（金）に群馬県渋川市の「共生社会実現のまち渋川市」推進事業の一環として、DET 群馬の協力のもと、伊香保温泉で観光事業者の方を対象に研修を実施しました。旅館内で車いす体験を行い、代表の織田もリモートで講演し、宿泊施設におけるバリアフリー対応の重要性について語りました。

バリアフリー飲食施設ガイド公開

2019年度、観光庁の委託で飲食施設105店舗のバリアフリー情報を掲載したガイドブック（全247ページ）を作成しました。新型コロナウイルスの感染拡大により公開が延期されていましたが、3月26日に観光庁の公式サイトで公開されました。



日本語版



英語版



①環境省熱中症対策

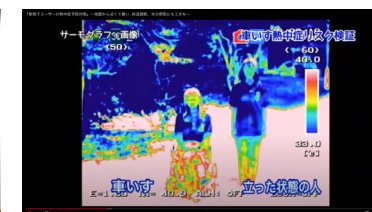
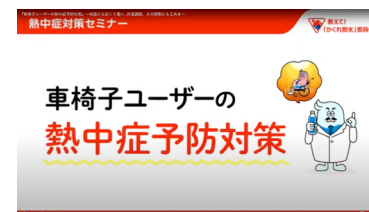
セミナー



環境省のオンラインセミナーに協力

環境省の委託事業として、教えて！『かくれ脱水』委員会と「車椅子ユーザーの熱中症予防対策」に関する啓発事業を行いました。車いすユーザー等にアンケート調査を実施。WheelLog! サポーターの方にもご協力いただいて個別ヒアリングも

行いました。それらの結果を元に検証動画が作成され、オンラインセミナーが開催されました。代表の織田も登壇し、車いすユーザーならではの熱中症の危険性やその対策方法について解説を行いました。セミナーはYoutubeでも公開されています。



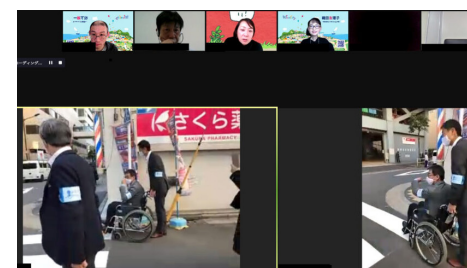
セミナー動画はこちら
<https://www.youtube.com/watch?v=cuhtD1tuO-M>



②SDGs 企業研修

車いす体験

PHCホールディングス株式会社で企業研修実施



2020年12月4日（金）にNPO法人Liko-netの紹介でPHCホールディングス株式会社で企業研修を実施し、社員の皆様に車いすで街歩きを体験していただきました。今回の研修はオンラインを活用し、東京都内と愛媛県松山市の2カ所で同時開催しました。オンラインを活用して、実際に外で体験されている様子を見ながら、車いすで走行する上での注意などを細かくお伝えしました。

③福祉施設研修

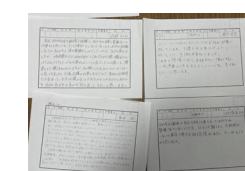
車いす体験

特別養護老人ホーム潤生園のインターン生が車いす研修



神奈川県小田原市の特別養護老人ホーム潤生園で学生インターンによる車いす体験を実施しました。車いすで電車を体験したり、公共施設を利用したりする中で、「今後介護の仕事をする上で、今日の気づきを忘れず向き合っていきたいと思います」と、参加した学生から感想をいただきました。

学生の感想▶



① リモート街歩き

街歩き

コロナ禍の新しい街歩き様式
オンラインを活用した全国一斉車いす体験

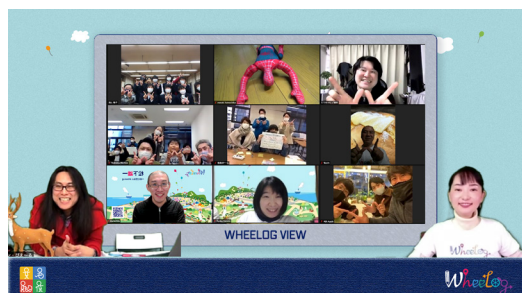
9月6日 @ 超福祉展



10月25日 @ 第一弾実証実験



11月29日 @ 第二弾実証実験



12月27日 @ 第三弾実証実験



コロナ禍で思うようにイベントが開催できなくなった2020年。これまで大人数で集まって行われてきた街歩きイベントを、安全に楽しめるように、オンラインを活用した新しい様式の街歩きに挑戦しました。実施にあたり、運営委員会のメンバーと協議を重ね、実証実験を繰り返しました。

9月6日に「超福祉展（2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展）」（主催：NPO法人ピープルデザイン研究所）で、初めてのリモート街歩きを実施しました。当日は全国12箇所をオンラインでつなぎ、一斉に街歩きを実施。街歩き後の振り返りでは、全国各地をZoomでつなぎながら気づきをシェアしました。

その後、さらにイベントをブラッシュアップさせるために、WheelLog! サポーターを中心に、実証実験を行いました。司会にジョンソンさんを迎え、第一弾は個人編、第二弾はチーム編、第三弾はCKOの吉藤オリィが運営するオリィ部との合同チーム編と、試行錯誤を繰り返しながら実証実験を実施しました。

これまでの街歩きの魅力を維持しながら、オンラインの良さをプラスした形で新しい街歩き体験を発掘することができました。

小田原バリアフリーマップ2020



今年度も神奈川県西リハビリテーション協会が、WheelLog! とコラボした小田原のバリアフリーマップを制作されました。

② 地域共生社会実現に向けての提案

政策提言



厚生労働副大臣を表敬訪問

10月7日に小田原福祉会の会長等とともに代表の織田が山本博司厚生労働副大臣を表敬訪問しました。今回の訪問は岡本三成衆議院議員にご尽力いただき実現しました。WheelLog! で今取り組んでいる活動について、また将来目指していきたい地域共生社会実現に向けて、じっくりお話を聞いていただきました。また、1月20日のセミナー（下記）では副大臣よりメッセージも頂きました。

③ 地域共生社会トークセミナー

セミナー



厚生労働省 唐木啓介 室長
潤生園 井口健一郎 施設長
WheelLog 織田友理子 代表

フリーアナウンサー 町亞聖
徳島市 内藤佐和子 市長
(画面表示順)

厚生労働省や徳島市長を迎えトークセミナー実施

1月20日に、国や地域における「地域共生社会」の取り組みについて、それぞれの活動事例や今後の展望について語るトークセミナーを実施しました。（参加申込者約150名）
前半は厚生労働省の唐木啓介室長から地域共生社会について、WheelLog 代表の織田友理子から車椅子体験を活用した取り組み、徳島市の内藤佐和子市長から徳島市での事例と今後の展望、小田原福祉会潤生園の井口健一郎施設長から地域福祉と街歩きの可能性について、それぞれご登壇いただきました。

後半はフリーアナウンサーの町亞聖さんを中心に、登壇者同士のトークセッションが行われ、地域共生社会の実現に向けて様々な意見が交わされました。

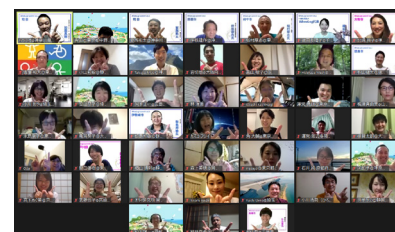


セミナー前の7月30日には、厚生労働省の地域共生社会推進室の皆様にもWheelLog! の活動を紹介する機会をいただきました。

④ WheelLog! Summit

セミナー

地域間のつながりを深めて地域活性化を目指すオンラインイベント実施



7月25日（第一回）
群馬県伊勢崎市・東京都府中市
徳島県徳島市・沖縄県那覇市

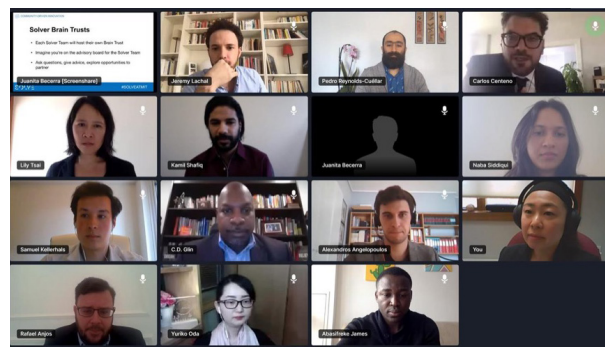


12月12日（第二回）
静岡県掛川市・岡山県高梁市

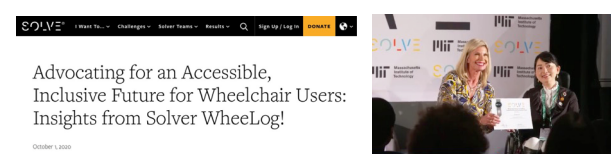
「ひとりの力では小さいけれど、各地域が繋がることで、大きな変革をもたらす」。そんな想いを込めて、Summitを実施しました。運営委員が中心となり、各地域のWheelLog! 街歩き経験者に登壇いただきました。街歩きの開催にあたっての疑問に答えたり、ノウハウを伝授し合ったりと、地域間のつながりを深める機会となりました。

① MIT Solve

アメリカ

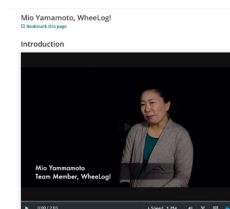


▲ Virtual Solve at MIT 2020(5月12日)



▲公式ニュース

▲紹介動画



▲オンライン授業



▲応援メッセージ動画

Virtual Solve at MIT 2020

WheelLog! はアメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) で社会問題を解決するための助成プログラム「MIT Solve」のコミュニティチームに、世界 1400 以上の団体の中から選抜されて参加しています。

5月12日に開催された Virtual Solve at MIT 2020 では代表の織田が参加し、World in Tohoku (WIT) の山本未生さんやメンターとの伴走でプログラムを進めてきた結果を報告しました。

公式ニュースや授業で紹介

10月1日には MIT Solve 公式ニュースで WheelLog! の取り組みを紹介いただき、WheelLog! の紹介動画も作成していただきました。オンラインコースの授業では、社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）の事例として取り上げられました。

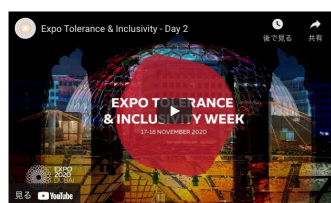
海外と交流を深めながら

WheelLog! のイベントに際してプラチナスポンサーである Morgridge Family Foundation CEO のキャリーさんからメッセージをいただくなど、一歩一歩着実に海外展開を進めています。



② ドバイ万博

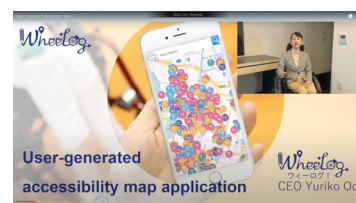
ドバイ



2020 年はオンラインでプレイベントに参加

WheelLog! は世界 184 カ国 1 万 1,000 件を超える応募の中から Expo 2020 Dubai (2020 年 ドバイ国際博覧会) の助成プログラムに選抜されました。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ドバイ万博は 2021 年 10 月以降に延期されました。

しかし、開催予定だった昨年、



オンライン上で各取り組みの紹介が行われ、11月18日の Expo Tolerance & Inclusivity 2 日目に WheelLog! も登壇しました。

2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで開催されるドバイ万博では現地で WheelLog! を紹介する予定です。

③ WTFL2020

受賞

世界観光フォーラム
ファイナリストに選出

世界観光フォーラム「World Tourism Forum Lucerne (WTFL)」の 2020 Start Up Innovation Camp で、世界 70 カ国 260 団体の中から、Mobility 部門でファイナリストの 12 団体に選出されました。



WEB

2020 年 4 月 17 日	あしたのコミュニティラボ
2020 年 6 月 1 日	Media116
2020 年 6 月 2 日	ジャパンショッピングツーリズム協会
2020 年 6 月 15 日	Euronews
2020 年 6 月 30 日	Puente
2020 年 7 月 12 日	リハビリ情報サイト POST
2020 年 8 月 19 日	東京ボランティアポータル
2020 年 9 月 18 日	iconavi
2020 年 9 月 29 日	QEEE
2020 年 12 月 11 日	ゆうゆう Life
2021 年 1 月 15 日	徳島市長対談
2021 年 1 月 27 日	Science Portal (科学技術振興機構)
2021 年 3 月 16 日	遺伝性疾患プラス

テレビ・ラジオ

2020 年 4 月 13 日	NHK ハートネット TV
2020 年 8 月 23 日	24 時間テレビ
2021 年 3 月 1 日	ココロつながるプロジェクト (沖縄県民放 3 局)
2021 年 3 月 22 ~ 26 日	文化放送 SDGs Voice

講演・セミナー

2020 年 5 月 20 日	東京都女性ベンチャー成長促進事業 APT Women
2020 年 7 月 22 日	上越教育大学
2020 年 9 月 6 日	超福祉の学校 (文部科学省)
2020 年 10 月 11 日	できる できないじゃないやってみるんだアート展
2020 年 11 月 19 日	サイエンスアゴラ 2020 (科学技術振興機構)
2020 年 11 月 21 日	第 25 回日本難病看護学会 第 8 回日本難病医療ネットワーク学会 合同学術集会
2020 年 11 月 26 日	エコプロ Online2020(サステナブル経営推進機構)
2020 年 12 月 9 日	福祉のまちづくり学会
2020 年 12 月 13 日	共生社会実現フォーラム (神奈川県)
2020 年 12 月 15 日	創価中学校
2021 年 2 月 9 日	バリアフリー観光推進セミナー (高知県)
2021 年 2 月 16 日	環境省シンポジウム (環境省)
2021 年 2 月 23 日	厚生労働省地域共生シンポジウム (厚生労働省)
2021 年 2 月 23 日	Clubhouse 障害者から見るコロナ禍 (G1)
2021 年 3 月 6 日	いばらき社会リハビリテーションフォーラム (茨城県リハビリテーション専門職協会)
2021 年 3 月 13 日	まちだサステナビリティフェス (町田市役所)
2021 年 3 月 26 日	ジャパン SDGs アクションフェスティバル

新聞

2020 年 9 月 (超福祉展関連記事)	産経新聞関西版 (夕刊) 信濃毎日新聞 (夕刊一面) 大分合同新聞 北日本新聞社 (Web 記事) 室蘭民報社 (Web 記事)
2021 年 2 月 8 日	福祉新聞

雑誌等

2020 年 4 月	国土交通省 “みんなでつくる” バリアフリーマップ作成マニュアル
2020 年 8 月号	作業療法ジャーナル
2020 年 12 月	バラスポーツマガジン Vol.8
2021 年 2 月	バイオジェン・ジャパン株式会社 ・脊髄性筋萎縮症 (SMA) 冊子 ・多発性硬化症 (MS) 冊子
2021 年 3 月号	STORY (女性誌)



①国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰



3月15日(月)に赤羽一嘉国土交通大臣より、国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受けました。大臣はユーザーが参加して作り上げているWheelLog!の活動に大変興味を示され、今後もバリアフリー化推進のためにWheelLog!の活動を注目していきたい旨を語られました。

本表彰の申請や選考委員会の審査にあたっては、運営委員のメ

ンバーにも協力いただきました。今後もバリアフリー化推進のために全力を尽くしてまいります。



▲選考委員会にて(2020年8月)

授賞式での赤羽国土交通大臣のメッセージ

本年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーは「真の共生社会の実現」であり、ユニバーサルデザイン、バリアフリー社会へ前進するターニングポイントの一年としていきたいと強く決意しているところです。本日受賞された取組のように、他の模範となる先進性や波及性等に優れた素晴らしい取組を顕彰させて頂くことにより、「バリアフリーが当たり前の社会」の実現に繋がることを、心よりご期待申し上げます。

② STI for SDGs 文部科学大臣賞



▲最優秀賞の「文部科学大臣賞」を受賞

「STI for SDGs」は科学技術振興機構(JST)が科学技術イノベーション(Science, Technology and Innovation)を用いて社会課題を解決する、地域における優れた取り組みを表彰するアワードです。

WheelLog!は令和2年度のSTI for SDGsアワードで最優秀賞の「文部科学大臣賞」を受賞しました。文部科学大臣賞の名に恥じぬよう、今後もSDGs達成に向けて活動を展開してまいります。

<受賞理由>

本取り組みは、車いす利用者の移動に特化したアプリを開発しバリアフリーな社会の構築に貢献した点やインクルーシブ教育への活用、さらに移動に困難を抱えていない人たちの巻き込み、海外への展開可能性といった点において、革新性、独創性、包括性、展開性が高く評価された。SDGs目標3、4、10、11など複数目標の達成につながる活動として、選考委員会において文部科学大臣賞にふさわしいと判断された。

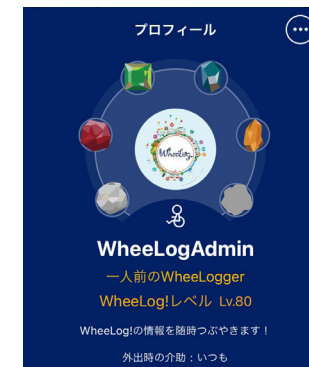
WheelLog!はユーザー参加型のアプリとして、ユーザーの皆様をはじめ様々な方にご協力いただきながら活動を続けています。今年度これら大変栄誉ある賞をいただけたことは、皆様の支えがあったおかげです。日頃よりご支援いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

①アプリのアップデート

2020年6月と2021年3月に2回のアップデートを実施



無料ダウンロード



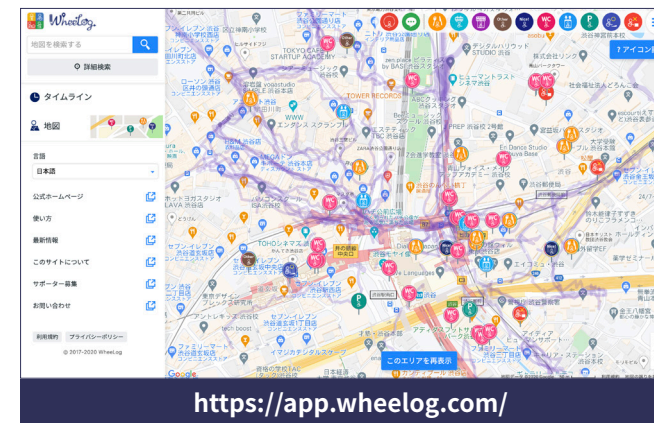
▲レベルや宝石の機能を追加

より使いやすいアプリサービスを提供するために、継続して改修を行っています。

ver.3.0.3では走行ログの表示やスポット投稿の不具合に対応。ver.3.1ではレベル機能を実装し、ユーザーが楽しみながらアプリを利用できるように改善しました。アプリの改修にあたっては、ユーザーアンケートを実施し、意見を反映しました。

また、データ管理のシステムを大幅アップデートさせ、効率的にデータクリーニングを実施できる仕組みを構築しました。これからも更にシステムをアップデートさせながら、より良い情報提供を行います。

②ウェブ版のリリース



<https://app.wheellog.com/>

アプリの情報をパソコンでも閲覧可能に

スマートフォンを使用できない重度の障害を持った方など、より多くの方にバリアフリー情報を届けるために、パソコンで利用できるWeb版の提供を7月より開始しました。Web版の開発にあたってはクラウドファンディングを実施し、286名の方からご支援をいただきました。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



③ VLED 勝手表彰



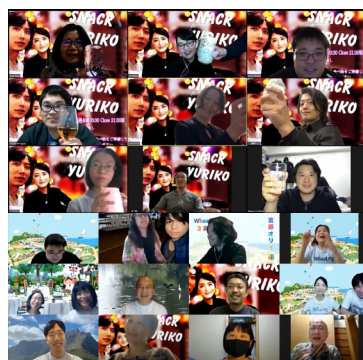
オープンデータ活用の優れた取り組みとして表彰

オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構の勝手表彰で、2020年度のオープンデータ活用の優れた取り組みとして「貢献賞」に選定されました。2021年3月5日(金)にオンラインで表彰式が執り行われ、代表の織田が出席。審査委員の方からは、「WheelLog!は市民が協力して出すデータが集計されて多くの方々に被益する。それが車

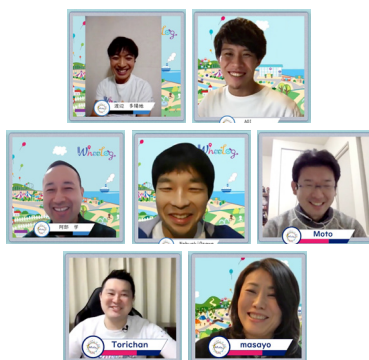
いすの方々とその他の方々のコミュニケーションを促進し、さらには自治体の方を含めて、多くの方が問題に対して関心を高めるといふ、非常に広がりのある大きな動き。いろいろなハンディキャップを持った方の社会参加促進につながってほしい」とWheelLog!の取り組みに対して大きな期待を寄せていただきました。

①オンラインコミュニティ

コロナに負けるな！オンラインを活用したコミュニティ活動



オンライン交流会(全32回)
『スナックゆりこ』



インタビュー企画(全5回)
『発掘 WheelLoggers』

4月から「スナックゆりこ」と称したWheelLog! サポーターのオンライン飲み会を開催。月末のお誕生日会やクイズ大会など、サポーターの仲を深める企画を実施しました。WheelLog! 合唱部もスナックゆりこの中で出てきたアイデアでした。また、ユーザーのことをもっと知るためのインタビュー企画「発掘 WheelLoggers」など、オンラインを活用したコミュニティの活性化に挑戦した一年でした。

②つながり∞イベント

全国のWheelLog! メンバーとつながりを深めるオンラインイベントを開催



6/13 リハ職



7/11 街づくり



8/8 教育



11/14 特別支援学校



2/13 車いす

素敵な想いや経験をお持ちの方々と、その想いや経験を共有できるイベントを開催できないかと考え、『つながり∞イベント』を始めました。運営委員が中心となり5回にわたってオンラインで開催しました。

③マスクの無償配布



M & K コンサルタンツ株式会社
野村美通社長



テクノツール株式会社
島田真太郎取締役



アプリユーザーにマスクを無償配布

新型コロナウイルスが流行し始めた4月、全国各地でマスク不足が深刻化しました。そんな折、支援者の方から第一弾500枚、第二弾700枚のマスクをご寄付いただきました。発送等にかかる費用はご寄付を活用させていただき、普段WheelLog! を応援してくださっている方々に無償提供しました。お届けした方からは感謝の言葉を多数いただきました。

④WheelLog! 合唱部

「夢をあきらめないで」をリモート合唱



有志のメンバーで合唱部を結成し、岡村孝子さんの「夢をあきらめないで」をリモートで合唱して動画投稿しました。企画から収録、編集まですべて、有志のメンバーで打ち合わせを重ねて制作しました。歌手の岡村孝子さんご本人に報告したところ、メッセージをいただき、岡村さんの所属事務所からは、この曲をWheelLog! のテーマソングとして使わせていただくことを公認いただきました。

岡村孝子さんからのメッセージ

はじめまして。岡村孝子です。
「夢をあきらめないで」の映像、拝見させて頂きました。みなさんの魂を吹きこまれ、キラキラと、とても美しい映像で、こんなに大切に歌って頂けて嬉しい、又これからの励みになりました。

▼動画はこちら



⑤SNS キャンペーン

ユーザー向けのSNS キャンペーンを実施



7月にアプリのリリース3周年をお祝いするSNSキャンペーンを実施し、ユーザーの方からたくさんのお祝いコメントをいただきました。1月から2月にかけては「My Hometown」と銘打ってInstagram フォトキャンペーンを実施。多くの方から素敵な地元の写真を投稿いただきました。投稿いただいた方の中から抽選でオリジナルグッズをプレゼントしました。



▲3周年お祝いコメント（一部）

⑥運営委員会 2020

テクニカル



藤原健太

イベント



吉田雄一

地域活性化



大澤信陽



荒井雅代



阿部学



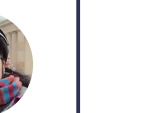
鳥越勝



渡辺多陽地



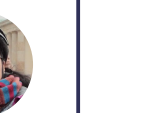
初鹿真樹



杉山葵



安西祐太



西岡充代

海外



古林朋実

広報



宗士淳

総務



戸村愛



池田裕美



藤井未来



白髭萌



中田美生



乾元英



星佳代



岩城一美



安田恭子

総勢22名で活動を推進

WheelLog! サポーターの中から運営委員会2020を発足しました。月一回の定例会議に加え、6つのチームに分かれ、各種イベント運営や情報発信など、多岐にわた

って活動に取り組みました。コロナ禍の中、メンバー同士が会えない状況が続きましたが、オンラインを活用しながらWheelLog! の魅力を発信し、多方面にわたって活動を展開しました。次年度は更に多くの方が参

加できるようにプロジェクト単位でサポーターを募集して、活動展開してまいります。ぜひお気軽にご参加ください！（詳しくはFacebook サポーターグループをご確認ください）

活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費		5,131,898	
2 受取寄付金		5,595,512	
3 受取助成金		11,822,376	
4 事業収益		12,839,982	
5 その他収益		2,000,119	
経常収益 計			37,389,887
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	4,249,202		
(2) その他経費	26,515,091		
事業費 計		30,764,293	
2 管理費			
(1) 人件費	2,640,080		
(2) その他経費	1,192,657		
管理費 計		3,832,737	
経常費用 計			34,597,030
当期経常増減額			2,792,857
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			2,792,857
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			2,722,857
前期繰越正味財産額			14,713,780
次期繰越正味財産額			17,436,637

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,344,635		
未収金	348,739		
棚卸資産	67,053		
前払費用	28,800		
流動資産合計		17,612,389	
2. 固定資産			
(3) 投資その他の資産			
ソフトウェア改修積立資産	7,500,000		
固定資産合計		7,500,000	
資産合計			25,112,389
II 負債の部			
1. 流動負債		1,892,590	
2. 固定負債		960,000	
負債合計			2,852,590
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		14,713,780	
当期正味財産増減額		2,722,857	
正味財産合計			17,436,637
負債及び正味財産合計			20,289,227

法人スポンサー

法人様向けに4つのスポンサープランをご用意しております
ご支援のお問い合わせはメールにて→ info@wheelog.com

2021年3月31日時点

Platinum

SUPPORTED BY



An Expo 2020
Dubai Initiative



Morgridge
FAMILY FOUNDATION



Bronze



華翔居家護理所



From the Inside Out



株式会社NTTデータ 経営研究所





JAPAN AIRLINES



SYNTEX



ドコケア



特別協賛





介護用品・福祉用具のレンタルと販売
ダスキンヘルスレント



スポンサープラン

100万円/年

50万円/年

30万円/年

10万円/年

個人サポーター

WheelLog!の活動は一人一人の皆様のご寄付によって支えられております。
引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

プラチナサポーター

中村元様 金栗聡様

ゴールドサポーター

村田康剛様 / 白髭萌様
飯吉茂子様 / 森脇嘉三様

サポータープラン

10,000円/月

5,000円/月

3,000円/月

1,000円/月

<https://wheelog.com/hp/supporter>

寄付振込口座

楽天銀行 第二営業支店 (252)
普通 7785882
一般社団法人 Wheelog
シャ) ウィーログ

1口1,000円より随時受付中